

未来ラボ！「祭×SDGs」提案書

多文化共生・DEI 推進に向けた共創型プログラム

—座学と阿波踊り体験で、あなたがひらく共創の未来！—



日本の歴史と経営哲学から SDGs の視点を学び、
阿波踊り体験で“共創のリズム”を体感する 90 分プログラム。

ご提案の背景

企業のサステナビリティ経営が加速する中、SDGs・DEI・多文化共生の推進は、組織の持続的成長に不可欠なテーマとして位置づけられています。

本提案では、日本の歴史・文化の知恵と、阿波踊りに代表される「祭の力」を融合し、楽しみながら深い学びが得られる共創型 SDGs プログラムをご提案いたします。

提案者：民族舞踊聚団 NIPPON

代表：望月登喜子



I) プログラム概要

① SDGs × 日本の歴史・文化 × 組織づくり

日本の祭は、古来より「多様な人が安心して共に参加できる“場づくり”」の文化として発展してきました。本講座では、以下の価値観を歴史的背景から紐解きます：

- ・ 共助・共創・地域循環
- ・ 多様性の受容
- ・ コミュニティの再生

これらは SDGs の根幹である「誰一人取り残さない」社会づくりに直結します。

② DEI 推進の観点

祭には、次のような DEI エッセンスが凝縮されています：

- ・ 役割の多様性
- ・ 誰もが参加できるオープン性
- ・ 上下関係を越えた協働
- ・ 音・リズムを介した非言語コミュニケーション

本プログラムでは阿波踊り体験を通し、
多様性が活きる組織とは何かを“身体感覚”として実感します。

③ グローバル人材育成

アジア各国参加の阿波踊りチーム「アジア連」の活動から、
異文化理解・共創の実例を紹介します。
言語を超えた協働プロセスはグローバル人材育成にも効果的です。

II) プログラム構成(90 分)

① 座学(20 分)

1.導入

- ・SDGs の現在地
- ・多文化共生・DEI の動向
- ・日本文化が持つサステナビリティ視点

2.座学

- ・祭文化の役割と歴史
- ・日本の経営哲学(共助・共創・循環)

- ・SDGs との関連
- ・異文化コミュニケーションの実例

② 阿波踊り体験ワーク(50 分)

- ・リズムワーク
- ・チームワーク体感(ペア/グループ)
- ・多様性を活かす踊り方の違い
- ・小発表型の成果共有

③ ふりかえり(20 分)

- ・今日の学びを組織にどう戻すか
- ・部署・チームの SDGs/DEI アクションへ展開

講座概要 PDF



Ⅲ)期待できる効果

- ・ SDGs/DEI の理解が「体験を通じて」深まる
- ・ 異文化・多様性への心理的バリアが下がる
- ・ チームのコミュニケーションが活性化
- ・ 若手・外国籍社員のエンゲージメント向上
- ・ 心理的安全性の高い職場づくり
- ・ 組織横断の共創プロジェクトが生まれやすくなる

Ⅳ)実施形式

- ・ 企業研修・自治体研修
- ・ 大学特別授業
- ・ 国際イベント
- ・ 人数:20~200 名規模まで対応
- ・ その他、カスタマイズご相

V)講師プロフィール

望月登喜子

民族舞踊聚団 NIPPON 代表。
国内外で公演・講座を実施。
アジア各国参加の阿波踊りグループ「アジア連」を発足。
「踊りは世界の共通言語」をテーマに、
多文化共生と国際文化交流を推進。

舞踊団 HP



講師 Profile



講座 HP

